

(犯罪)

平成16年の刑法犯認知件数は8,688件、検挙件数は3,574件、検挙人員は2,081人となっています。

これを前年に比べると、認知件数は614件(△6.6%) 検挙件数は967件(△21.3%) 検挙人数は309人(△12.9%)それぞれ減少しています。

(火災)

平成16年中の火災発生件数は259件、死傷者39人、損害額4億4,923万円となっています。

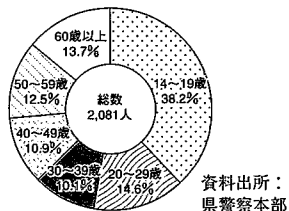
これを前年に比べると、件数は1件、死傷者は20人減少、損害額は1億1,474万円減少しています。

出火原因別では、「たき火」が46件で一番多く、以下「放火」(39件)、「こんろ」(26件)、たばこ(17件)、火入れ(9件)となっています。

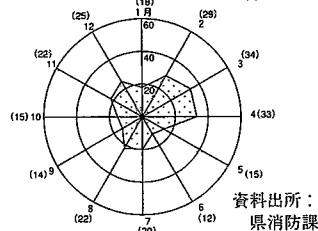
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
刑法犯認知件数(人口千人当たり)	14.2件	29	20.1	16
重要犯罪検挙率	67.9%	15	52.3	16
重要窃盗犯検挙率	53.5%	11	33.3	16
火災出火件数(人口10万人当たり)	42.2件	20	44.5	15

(注) 重要犯罪(殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐、強制わいせつ) 重要窃盗犯(侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり)とは治安情勢を観察する場合に、統計上その指標となる犯罪として掲げるものをいう。

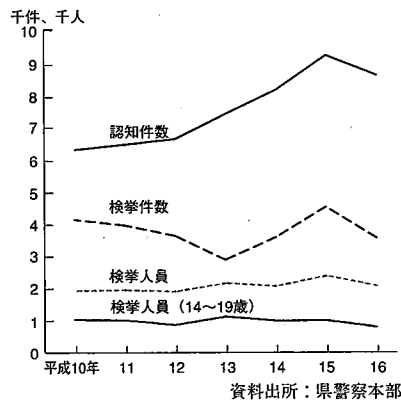
年齢区分別刑法犯検挙人員の割合(平成16年)



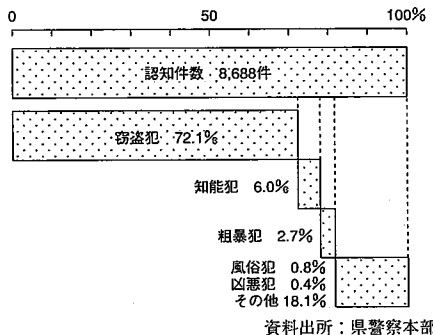
月別火災発生件数(平成16年)



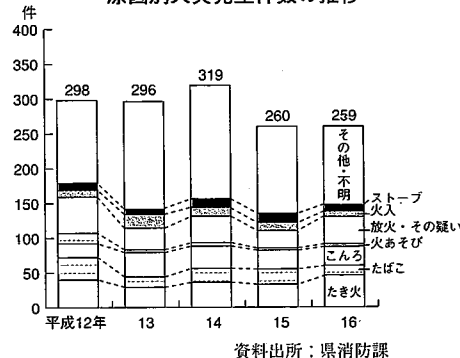
刑法犯認知・検挙件数及び検挙人員



犯罪認知件数の罪種別割合(平成16年)



原因別火災発生件数の推移



(交通事故)

平成16年中に県下で発生した交通事故は、3,048件、死者51人、傷者3,992人と、前年に比べ114件増加、死者10人減少、傷者220人増加しました。

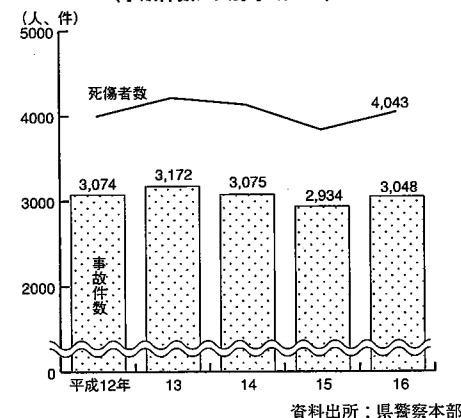
(労働災害)

平成16年中の労働災害死傷者数は587人となっています。

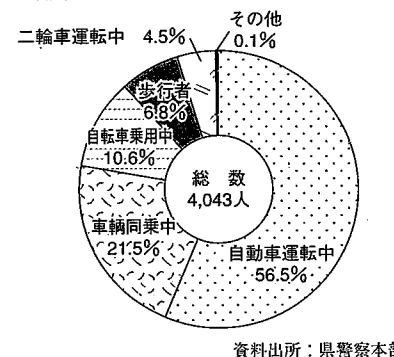
産業別に見ると製造業(27.9%)が最も多く、次いで建設業(20.6%)、運輸交通業(8.5%)の順になっています。

指標名	鳥取県	ベスト順位	全国	年次
交通事故発生件数(人口10万人当たり)	500.5件	6	745.7	16
死傷者数()	663.9人	6	932.3	16

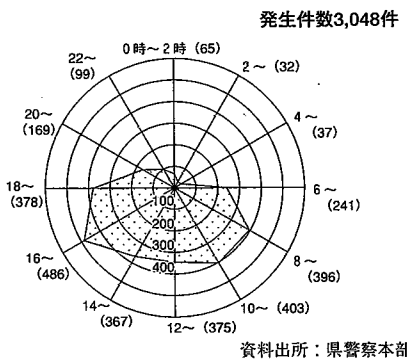
交通事故発生件数及び死傷者数(事故件数は人身事故のみ)



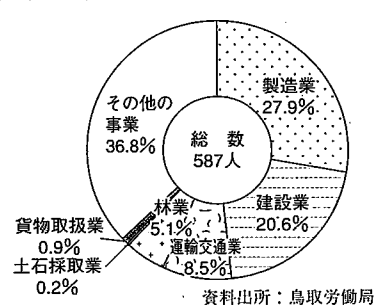
交通事故状態別死傷者の割合(平成16年)



時間帯別交通事故発生件数(平成16年)



産業別労働災害死傷者の割合(平成16年)



労働災害死傷者数

